



◇ AGA トピックス ◇

● AGA 20周年記念事業 あげおワールドフェア ミニ



日時: 2017年3月12日(日) 10:30から15:30まで
場所: 上尾市コミュニティセンター ホール

- 10:30 フィリピンの踊り
- 11:00 外国人による日本語スピーチ
- 12:20 映画「ベトナムの風に吹かれて」
- 14:25 タイの踊り
- 15:00 吉野原太鼓

なお、和室に交流スペースを設置します。ぜひお越しください

● 快晴に恵まれたAGAバスツアー

2月19日、恒例のAGAバスツアーが開催されました。参加者は33名でした。屋外の行事は、天気さえ良ければすでに70%以上成功だといわれます。この日の天候は、まさに曇一つない天候に恵まれ、大成功を予感させるものでした。予定より数分遅れてバスは文化センターを出発し、くっきりと浮き上がった富士山を眺めつつ、一路秩父ミュージックパークを目指します。車中は、幹事が用意した「なぞなぞ」で盛り上がりました。正解者にはおいしい「どら焼き」が配られ昼食時のデザートになりました。

途中1回の休憩の後、ほぼ予定通り秩父札所23番音楽寺に到着、参拝の後ちょっと移動し、公園内にて昼食をとりましたが、風が冷たく、秩父の寒さを久しぶりに実感しました。その後、酒蔵を見学し午後の目的地である長瀨宝登山へ向かいました。宝登山ロープウェイにて一気に蠟梅園のある山頂駅まで行きました。乗れば5分、歩けば1時間、のコースです。梅園は蠟梅のかおりがほのかに漂い、春の訪れを感じさせられました。また宝登山から見渡す山々が、澄んだ空気の中、とてもくっきりと見え感動的でした。

帰路では、いつもどおり到着時刻当てクイズが行われました。バスが文化センターに近づくにつれ車内は興奮の渦に包まれ、17時過ぎ文化センターに無事到着、解散しました。



2017年2月4日午後10時半、山頂アタック準備のためにテントから顔を出す。満天の星、風も弱い。頭痛もなく高山病にはなっていないそうである。「どうか良い1日になりますように！」と星に願いをかけた。ここは世界最高独立峰キリマンジャロ山 **5895m** のアタック基地バラフキャンプ 4670m 地点、1月31日にマチャメゲート 1800m から登山を開始し5日目のことであった。

午後11時半、軽食を済ませ妻とガイド・サブガイドと4人で山頂を目指し、ヘッドライトの灯りで歩き始める。何組か先行した者たちがいた。2時間ほど緩やかな登りを順調に進むがその後急な岩場に差し掛かると足下が定まらない。睡魔に襲われ始め意識が時々切れ、上手く歩くことが出来なくなり後続の組に抜かれ始める。これが高山病の一番悪い症状と知ったのはもう少し後のことであった。4時間ほど歩くとガイドが妻に「お前はサブガイドと山頂を目指せ。旦那はここでストップさせる。これ以上は危険だ。そう伝えろ！」と聞こえた。しかし私は「もう少し頑張らせてくれ！」と懇願し登山を続けた。ガイドは私に「眠るな！目を開けろ！」と励まし続けてくれた。上り始めて約7時間、太陽が顔を出し始めた。すると私の体力は回復を始め、午前7時ステラポイント（手前のピーク）5756mに到着した。ここから山頂までは緩やかな上りで危険な箇所はないので安心して頂上を目指し午前8時に山頂ウフルピーク 5895mに到達した。4人で抱き合っ喜び、自然と涙がこぼれた。しかし喜びはつかの間、この酸素は地上の1/3でありすぐに下山を開始しなければ体力がどんどん失われるのである。下山を開始している先行組の顔には笑顔はなく、殆ど夢遊病者のような顔で下山をしていた。

山頂から下り始め、ステラポイントまで来ると深夜に登ってきた岩場に着いた。あらためて「よくこんな岩場を暗闇の中登ってきたものだ」と我ながら感心した。しかしその下りは厳しい下りでガイドがしっかりサポートをしてくれ午前11時にキャンプに帰還した。しかし今日の行動はこれで終わりではない。2時間休憩したのちに更に下の空気の濃いムエカキャンプ 3000mまで下らなければならなかった。体力を回復させるには4670mに留まるのは危険と言う判断である。この日の実行時間約14時間に亘った。例えるなら「フルマラソンを完走した後、罰として20キロ追加」と言われたような体感であり、人生60年で一番厳しい日であった事は間違いないのであった。

2月6日バラフキャンプで目を覚ますとテントの周りが少し騒がしい。見ると苦勞を共にしてくれたガイドとポーターたち10人がキリマンジャロ登頂を祝う歌と60歳の誕生祝の歌を大声で歌ってくれ、また涙が溢れた。その後テントを撤収し、ポーター達に労いとお礼を言い下山、お別れをした。素晴らしい還暦記念の登山であった。

振り返ると2年前から体力作りをはじめ、1年前から現地登山会社と綿密に打ち合わせをはじめ、330日前に航空券を手配した。この計画をずっと見守り、登頂までサポートしてくれた妻と家族、社員に心から感謝している。

(最後に)初めての Afrika であり、全く日本語が通じないタンザニアで10名の現地人と1週間キャンプすることはとても不安であった。しかし彼ら10名のお陰で登頂が成し遂げられた。今回も肌の色も言葉も違っても心は通じ合えるものと実感をしてきた旅であった。地球万歳！！



にほんご教室日記 第六十五回

教室スタッフのボランティアさんが普段、考えていることや受講生の様子などをお知らせしています。

●上尾で共に生きる

新しい年を迎えてから、早くも二か月が過ぎました。従来ですと、1月の終わりの春節(旧暦の正月)前後には中国出身の受講生が帰国し、教室がどことなくさみしく感じられましたが、最近の火曜教室はもともと受講生が少なくなっているためか、あまり変化がなかったように思います。

火曜教室の受講生が減っているということは、上尾市在住の外国籍の人数も減っているのでしょうか。そうではありません。リーマンショック後減少を続けていた上尾市在住の外国人数は、平成24年に底を打ち、平成25年から昨年4月まで4年連続で増加しています。(これは国全体の傾向と全く同じです。)平成28年4月には57か国2,659人となりました。(市役所資料による。)今後も増加を続けるものと思われれます。このことは、今まで以上に日本人と外国籍の人たちとの触れ合いが増えてくることを意味し、またそのことに伴い、いろいろな問題も増えてくるのではないかと思います。生ずる問題を減らすために「多文化共生」の意識がもっともっと求められるようになるでしょう。では「多文化共生社会」とはなんなのか。このことをもう少し詳しく見てみましょう。

多文化共生社会とは

- ・国籍や民族の異なる人々が・・・上尾在住は57か国、外国人数は2,659人
- ・互いの文化的な違いを認め・・・習慣、言語、服装、宗教
- ・対等な関係を築こうとしながら・・・就職、結婚、権利・義務、同等な地域住民
- ・共に生きていく社会・・・認め合う、たすけあう

左側の斜体は、国や県の資料に出てくる文言ですが、具体的な意味あるいは何を指すのかの例を右側に書いてみました。

生活者としての外国人が、上尾市民として生活の中で感じる問題点(ことは、結婚、就職、習慣等に関する多くのこと)を減らすには、私たちが外国籍の人たちを「同行者」として認識し、お互いに敬意と思いやりのこころを持って接することが必要となります。ある受講生が、そうなるには、日本はあと100年かかるだろうと言っていたのが忘れられません。

日本語教室でたくさんの外国籍の人と接しつつ、共生社会実現のための長い道のりを少しでも短くするために、現在の活動を続けたいと思います。

編集後記

今月号には、国際交流協会初代会長である星野理一顧問からのキリマンジャロ登頂記を掲載させていただきました。還暦を記念しての登山だったとのこと。2年前から準備を重ねられ、きっちりと目的を達成された意思と体力には頭が下がる思いがしました。その星野顧問が中心となり、立ちあげられた我が国際交流協会も、20周年を迎えました。本来であれば、10月に文化センターで開催されるワールドフェアの時に、みんなで祝いしたいところだったのですが、諸般の事情により叶いませんでした。そこで、3月12日(日)にコミュニティセンターのホールで「あげおワールドフェア ミニ」を開催することになりました。上の「にほんご教室日記」にもありますように、20年前の設立時とは、国際化の状況は大きく変化していると思います。今回のAWFでは特別なセレモニーなどはありませんが、関わる私たちが20年後の上尾市国際交流協会についてどうなっていたのか、そんな想像の羽を広げてみる機会にしたいと考えています。(み)

AGA Calender

2017年3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			○にほんご教室 19:00~20:30 コミュニティセンター 集会室 3			
5	6	7	8	9	10	11
		○にほんご教室 10:00~11:30 コミュニティセンター 2F	○にほんご教室 19:00~20:30 コミュニティセンター 集会室 3	●理事会 18:30~ 市役所 401 会議室		
12	13	14	15	16	17	18
○あげおワールド ドフェア ミニ 10:30~15:30 コミュニティセンター					☆多文化子育て お母さんの会 10:00~11:30 コミュニティセンター 1F 子ども室	
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
○英語クラブ 14:00~15:30 創造スペース 上尾 MIRAI						

発行責任者：安田 朋子

編集：AGA事務局

発行：上尾市国際交流協会

〒362-8501 上尾市本町 3-1-1 上尾市役所別館 1 F

TEL: 780-2468 (直通), 775-5111 (内 816) / Fax: 775-9819

E-Mail: office@aga-world.com

HP: http://www.aga-world.com

※AGA事務局は、市役所第3
別館1階（市役所本庁舎向かい
側のビル）

スタッフの出勤は、月・木・金の
10:00~16:00です。